

令和7年第12回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和7年12月19日(金)
午後1時30分から午後2時22分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 滝 嶋 正 司
教育長職務代理者 古 谷 広 明
委 員 宮 崎 英 子
委 員 安 河 内 由 香
委 員 青 田 和 義

欠席者 なし

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	五十嵐 和 也	次長兼教育総務課長	増 島 康 浩
社会教育課長	石 井 巳代子	スポーツ振興課長	河 井 一 敏
学校教育部長	宇佐見 昌 義	次長兼教育指導課長	利根川 浩 子
書 記	大 熊 正 則		

会議の公開・非公開 議案第65号については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立性が損なわれるおそれがあることから非公開とした。

傍聴者数 0名

報告事項

- ・令和7年第4回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)
(学校教育部長)

(要旨)

会期は11月28日(金)から12月16日までの19日間の予定であったが、最終日の16日に食料品等物価対応給付金に係る補正予算など4議案が追加提出されたため、会期が延長され18日に閉会した。議案は、人事案件1件、総合計画基本構想1件、新規条例3件、一部改正条例9件、指定管理者の指定8件、補正予算4件、請負契約の締結1件、市道廃止1件の合計28件である。

一般質問については18名からであり、うち教育委員会関係は6名であった。大沢えみ子議員からは動物愛護について、橋本亜矢議員からは暑さ対策について、

船川秀子議員からは教育、予防接種について、広山清志議員からは地球温暖化対策の緩和策について、太田博希議員からは狭山市駅西口周辺地区の課題について、笹本英輔議員からは教育について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

委員からの質疑等では、船川秀子議員の質問に関連して、スクールカウンセラーやさやまっ子相談員については、埼玉県から補助が出ていると思うが、先日の埼玉県教育委員会に対する予算要望の際に、この相談員関係の配置がどのような効果に結びついているか検証しづらいという話があり、財政担当からは、もう少ししっかりその効果を検証した方がよいとの指摘が出ているとのこと。埼玉県教育委員会や西部教育事務所等と協力しながら、こういった形のものを提示すれば、その効果の検証ができ、財政担当者にも伝わるかということを経験して研究して欲しい。そうしないと、補助金がいつ切られるかも分からないという話を聞いたがとの質疑に、なかなか成果が見えづらい分野であると捉えているが、まだ、外部機関と繋がっていないような不登校児童生徒もいるので、まず、相談に繋げていくということが一つ考えられる。その上で、復帰率というところもあるが、今回の考え方としては、復帰だけが成果ではないので、居場所作りというところで、何かしら繋がりが切れないように、どこかに必ず繋がるような形で学校にも周知していきたい旨の答弁がなされた。

橋本亜矢議員の質問にあったランドセルと日傘の件について、ランドセルは1年生にしてはかなり重いということで、対策として使わないものは置いていってもいいということにはなっているが、もう少し進んだ対策を何かしないと、結局、一、二年生ぐらいだと、置いていくのは悪いことだという形で、どんどん入れてきてしまうと思う。もう少し強く学校で統一していくとか、例えば、一、二年生ぐらいであれば、宿題を出す曜日をしっかり決めるとか、現場の先生たちの意見とは全く合っていないものだとは思いますが、月曜日と火曜日は、国語と算数の宿題だけを出し、その宿題に必要なものだけを持ち帰るというように、ランドセルの重さということに関してのみ言うと、もう少し進んだ対策を学校の方で進めていけばと思う。体力がつけば、何とかなるかもしれないが、今の段階では重すぎるので、対策を進めてほしい。また、日傘については、欧米では皮膚がんとの関連でいわれているが、日本の暑さもそれに匹敵するぐらいの暑さになっているので、もちろん、学校、個人、家庭の判断によるものではあるが、声掛けなどをもっと行っていいのではないか。また、全員が日傘ということも、もちろん、子どもが嫌と言えればそれまでだが、そういった病気に関する啓蒙ではないが、そのようなことも少し考えてほしい旨の要望がなされた。これに対し、事務局より、ランドセルの件については、校長会議等で、議員からこのような質問があったということをしっかり伝える。また、教育委員会会議の中でも、しっかりと対応してほしいという意見が出されたということ伝えていく。日傘に関しては、保健的な見地から実際どうなのかということも調べ、現在は尋常な暑さではないので、保健的な観点から学校でも発信してもらうように努める旨の答弁がなされた。

・令和7年度博物館秋期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和7年度秋期企画展「江幡三香展～木の本とおもちゃの世界～」は、令和7年10月4日（土）から11月16日（日）まで実施し、40日の開催期間中に5,838人の方に入館いただいた。今回は、かつて狭山市に在住していた彫刻家・おもちゃ作家である江幡三香氏による親と子どもたちのための作品を中心とした企画展であり、普段、博物館を訪れる機会の少ない子育て世代に興味をもって来ていただき、来てよかったと言っていただけの展示内容となった。アンケート調査の結果からも、入館された9割の方に「良い」の評価をいただくことができた旨の報告がなされた。

・令和7年度博物館冬期企画展の開催について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和7年度博物館冬期企画展「狭山の戦争の記憶とくらしー戦後80年、そして未来への継承ー」を、令和7年12月20日（土）から令和8年2月8日（日）まで開催する。収蔵資料を中心に、狭山市に残る戦争に関する資料の展示を行うとともに、昭和期の暮らしや子どもたちの学びと遊びについて紹介する。また、稲荷山公園や航空自衛隊入間基地の様子を精巧なジオラマなどを用いて紹介する旨の報告がなされた。

・令和7年度さやまっ子教育の日の取組について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

令和7年11月8日（土）、市内公立小中学校及び幼稚園において、さやまっ子教育の日として学校公開が一斉に行われた。さやまっ子教育の日の終了後に各校・各園にアンケート調査を実施し、取組の成果と課題や改善点を記述式で回答してもらった。今年度も全ての幼稚園・学校から回答があった。成果等については、各校・各園が特色のある教育活動を実施してきたことがうかがえる。また、課題として、地域の方への公開について、保護者等が参加できる取組についてが挙げられ、中には、保護者の入場に対して学校のキャパシティが足りていないというような嬉しい悲鳴のようなところもあった。さらに、他の行事との日程調整なども課題として挙げられている。このように各校で取組を振り返ることは、次年度さらによりよいものとするに繋がるので、有意義な機会になると考えている旨の報告がなされた。

委員からは、課題等にも挙げられているが、運動会を実施し、その後のあまり期間を置かない日程ということで、各校とも準備が大変だったということが窺えた。それでも、地域の方や保護者との交流が深められ素晴らしい各校の取組であったと思う。その中で気になったのは、不審者への対応について、御狩場小学校

と富士見小学校が課題に挙げている点である。開かれた学校ということとの兼ね合いが非常に難しいと感じる。その辺は、一度皆さんで話し合っていて、高校などの文化祭ではないけれども、チケット制にしPTAの方等のボランティアにお願いし受付を設ける、そのような形もありかなと思う。開かれた学校ではあるが、時代も変わってきているので、賑やかな学校の音に惹かれて入ってくる方もいるかもしれないので、その辺をぜひ検討してほしい旨の要望がなされた。これに対し、事務局より、不審者対応については、開かれた学校をつくる際に非常に重要な視点だと考えており、PTAや地域の方と協力しながら、できるだけ安全な取組に繋げていきたい。また、校長会等を通して、この点についても検討していく旨の答弁がなされた。

・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和7年度第2回狭山市立博物館協議会の開催結果について、その概要について報告がなされた。

委員からの質疑等では、次年度の企画展等を計画する時には、どういう観点から内容を決めるのかとの質疑に、企画展の候補については、指定管理者が、大体こういう内容のものを考えていると、指定管理の応募の際に提案してくる。その中で、これまでの企画展とは違う内容で、狭山市になじみがあり、集客の見込めるものを選んで実施している。夏は子ども向けが多い形になっており、冬は収蔵品の中から市民にまだ見てもらっていないものを重点的に展示するという形になっているとの答弁がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）
（スポーツ振興課長）

（要旨）

社会教育課関係4件、スポーツ振興課関係3件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

議 案

議案第65号 狭山市教育委員会委員の辞職の申出に関し同意を求めることについて

狭山市教育委員会委員宮崎英子氏から教育委員会委員を辞職したい旨の申出があり、本件に同意することについて教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

(宮崎委員の一身上に関する事案のため、暫時宮崎委員は退室)

議案第 65 号については、原案可決した。

以 上